

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	配給水管漏水調査						継続		
コード	24	-	79	-	01	-	00	予算事業名	漏水防止事業
担当部署	事業推進部	水道施設課			配水維持担当	予算事業コード	会計 01 款 02 項 10 目 20		

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	漏水防止事業	
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	なし	
施策	2	水道水の安定供給	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	1	施設・設備の改修及び更新			
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	漏水を早期に発見し修繕することにより有収率の向上を図ると共に、水資源の有効活用を図るため、計画的な漏水調査を行う。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	漏水調査は、市内全域を2年で一巡するよう調査地区を設定し、水道本管から各戸のメーターまでの給水装置について、戸別音聴調査を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	21,495	25,162	27,647	33,788	25,913	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	戸別調査件数を削減したため。					
事業費 A	21,495	25,162	27,647	33,788	25,913	38,073
人件費 B	6,970	6,970	6,970	6,970	6,970	6,970
総コスト(C=A+B)	28,465	32,132	34,617	40,758	32,883	45,043
正規職員(1年間の従事人数)	0.95人	0.95人	0.95人	0.95人	0.95人	0.95人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	28,465	32,132	34,617	40,758	32,883	45,043

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	漏水の発見	箇所	243	426	283	441	-
	指標の定義・説明	漏水調査によって年間に発見された漏水の件数					
成果	漏水の発見率	%	0.5	0.6	0.5	0.6	-
	指標の定義・説明	年間漏水調査の発見率					
活動	漏水調査戸数	戸	48,000	69,600	63,000	71,100	63,500
	指標の定義・説明	年間漏水調査戸数					
	指標の定義・説明						
指標に基づく評価	漏水調査による漏水の発見は、有収率向上の一端を担っており、継続的な活動が必要である。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
現在の漏水調査方法より、さらに効果的な調査方法を検討していく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
他市においても、同様な漏水調査業務を行っている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
経年変化によりおこりえる地下漏水を早期発見し、修繕することにより、水道水の安定供給や道路陥没事故等の防止並びに貴重な水資源の有効活用する上でも、継続的に行っていく必要がある。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		事業推進部				水道施設課	配水維持担当
事務事業名称		24	79	01	00	配給水管漏水調査	
今後3年間の方向性	25年度	改善(見直し)		過去の漏水箇所のデータを分析し、調査地区の優先順位を考慮するなど調査方法を見直し、一年間に行う調査対象地区を広げるようにします。			
	26年度	継続					
	27年度	継続					